



近畿支部会報2009年8月夏号

1、2009年サーバス近畿支部8月例会報告

支部長

日時：2009年8月1日 場所：京都第2タワーホテル

出席者：本部役員3名 支部役員3名 会員3名（大阪1 京都1 滋賀1）

8月1日、突然の雨で、ずぶぬれになりながら、会員9名が集まって、JR京都駅近くの第2タワーホテルで、例会を持ちました。最近、韓国に行かれた大阪のT・Iさんが、写真を持ってご参加下さり、昼食を頂きながら、韓国旅行の話をして下さいました。議題に入る前の和やかな良い一時でした。つい、決まりきったメンバーでの例会が続きますが、こういう事や経験談、トラベラーのご紹介などは大歓迎です。会員の皆様、どうぞ、よろしくをお願いします。また、以下の方針についてご意見がありましたら、副支部長か支部長までお知らせください。

- 議題
- ①サーバス50周年記念誌について
 - ②サーバス会員獲得のためのパンフレットの作成について

I、サーバス50周年記念誌について

①50周年誌について今年度中（次の国内会議まで）にする事

- ・支部会報等公に出されたもの、新聞に載ったものや、個人的に所有されているもの、ラジオ放送等で録音されたもの等を含めて、25周年誌（1984年）以降、今までに出されている資料を出来るだけ集める。
- ・支部会報は2006年12月からはホームページにある。1984年から2006年11月までの会報の保管状況を編集委員で調べる。
- ・会員は必ずという位、サーバスでの体験や意見等サーバスに関する事を記して出して欲しい。又、昔よく活躍していた人たちからも原稿を集めてほしい。具体的な原稿は次年度で良いが、原稿を出す意思是今年度中に明らかにして欲しい。
- ・過去の支部長も含めて、自分が支部長であった時の支部の事についてまとめて書いてほしい。
- ・集まった原稿は、不条理なことが書いていない限り、基本的に全部載せる。たとえば、批判は良いが、誹謗中傷といったものは駄目である。ページの制限はあるが、基本的には全部載せる。編集委員が指摘するのは、不適切なものだけである。
- ・写真は出来るだけ添付して欲しい。そのいくつか代表的なものはカラー刷りにする。

- ・原稿の個人名は、頭文字ではなく、実名にして欲しい。個人情報との関係では、名前・名字ともでなく、どちらかだけにすれば良い。
 - ・古い資料は手書き、ガリ版印刷で作った。それをスキャンして取り出すと、印刷がどうしても悪くなる。だが、すでに持っている原稿は読みにくくなっているとしても、そのまま出して欲しい。新聞記事等は読みにくくても、そのまま記念誌に載せるのが良い。個人の原稿は読みにくいものは作り直す。作り直した方が良い等の判断は後日するので、とにかく出して欲しい。
 - ・亡くなられた前の支部長への追悼文も掲載したいので、会員からの投稿をお願いします。
 - ・フォーマットについては、近畿支部からは会員からの問い合わせもあるので、編集委員の方で決めて欲しいと要望しました。委員の方では、原稿を集める事を優先しており、編集方針としてのフォーマットは決まっています。
 - ・近畿支部としては、これから原稿を作る人は、取り合えず、左右 2cm, 上下 2,5cm の余白、文章の始め・改行は 2 文字空ける、字体等他の事は定めず、自由に書いてもらう事に決めました。
 - ・会員の原稿は支部長に提出して下さい。支部長が見た上で、支部長から編集委員に提出します。
 - ・編集委員としては、予算は資料が集まってから決める。費用について、本部会計から、50 万円充てられる。会員に 2000 円で有料配布という目安があるが、決定ではない。
 - ・どこか良い出版社があれば、編集委員まで教えてほしい。
- ② 来年からの編集については 次回の国内会議で、決める。

II、サーバス会員獲得の為のパンフレットの作成について

近畿支部として、会員獲得の為のパンフレットを白黒印刷で作りたい。裏に会員の声とか、具体的な活動を載せないと、HP と変わらないので、原案作成委員を選び、次の例会までに原案を検討してもらう事に決まりました。

2、トラベラー報告—SERVAS KOREA メンバーとの出逢い T・I (大阪)

2009 年 6 月 20 日土曜日

13 : 45 金浦空港着。 ユンさんと奥様のキムさんにお出迎えいただきました。



1 時間半ほどかけて、Yoncheon-gun へ。

車中も、韓国のドラマが家族そろって大好きだということなど、片言のハングル語を織り交ぜながら、楽しく話をしました。

帰路の途中で、敬順大王のお墓など歴史的なスポットに 2 か所ほど立ち寄っていただきました。また、高麗人参の畑も見させてもらいました。Yoncheon-gun は高麗人参で有名だそうです。

16 時 30 分ごろにお宅へ到着。とってもきれいなマンションでした。キムチ専用の冷蔵庫もありました。ユンさんはよく家事をされますが、聞いてみると最近、韓国の男性もよく家事を手伝うそうです。



チマチョゴリも着せていただきました！

6 月 21 日日曜日、朝 9 時からキリスト教教会に行き、集会礼拝に参加しました。

午後からは石器時代の石器がたくさん発掘された場所が現在、公園になっているので連れて行っていただきました。ユンさんご夫妻の配慮で、日本語の堪能なガイドさんもスタンバイしてくださっていました。

また、DMZ=Demilitarized Zone にも連れて行っていただきました。またまた、ご配慮で、英語の堪能な兵士の方に北朝鮮との国境付近の地理や歴史を簡単に説明していただきました。

6月22日より、ソウルに移動し、ユンさんにご紹介いただいたホンさんのサポートを手厚く受けて、ソウル観光をしました。その際、ホンさんの経営する会社のスタッフの方々が私のガイドとなってくださいました。

6月24日 三清洞にて、SERVAS KOREAのメンバーからインタビューを受けました。

ホンさんのご友人の詩人、ユーさんと奥様のヨンミさんは、三清洞に出版関係の事務所を構えています。日本人大歓迎だそうです。www.herone.co.kr ぜひ訪れてみてください！

6月25日木曜日

最後の最後まで、ホンさんに全部段取りしていただき、無事荷物も忘れ物もピックアップして、いざ空港へ。

本当にSERVASという存在のおかげで、様々な人たちに出会い、語らい、共感しあえました。

SERVAS KOREAの方々は、結びつきが強く、コミュニケーションも普段からよく取れている印象を受けました。彼らとの対話を通して、ハングル語の語彙もだいぶ多くなりました。

ただ、たしかに語学力は大事ですが、何よりも大事なものは、心を自分からまず開く、ということではないかと思います。

多少間違ってもいいから、なんとか彼らの言葉で、話しかけてみる、分かり合おうとする、その気持ちこそが、コミュニケーションを成立させる根幹ではないかと思いました。長くなりましたが、これで私のSERVAS KOREAとの交流録を終えたいと思います。

3、次の例会は10月頃に行います。

詳細は後日ご案内しますので、出来るだけ多くの会員の方がご出席下さるように、お願いします。